

## 地域住宅生産者グループ 全木協福島県協会

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
「ふるさと再生」新しい街づくりの家	福島県全域

### グループの特徴とメッセージ

全木協福島県協会は JBN 福島と全建総連福島の 2 団体で組織され、参加会員は、県にまたがりその地域特性を生かした家づくりに励んでおります。「ふるさと再生 200 年の家」は、復興の為の家づくりを単に従前の家づくりの延長線上で進めるのではなく、新しいふるさとを作る為に、長期に渡ってしっかりと暮らしを支える事の出来る優良な家、しかも省エネ性能の高い家づくりをめざしています。認定長期優良住宅や省エネ住宅の取組についても、これまで十分な実績を誇っております。地域でのネットワーク作りも、積極的に行っており、地域産木材の利用等も行い地域の自然を守る一助を果たしております。

### グループの基本情報

グループ名称	全木協福島県協会
所在地	福島県いわき市中央台飯野四丁目 2-4 内
結成年月	2012 年 4 月
グループ形態	任意団体
主たる業態	施工
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計 190 社 原木供給 : 8 社 製材 : 19 社 建材流通 : 20 社 プレカット : 13 社 設計 : 22 社 施工 : 68 社 その他 : 42 社
代表者名	和田正光 (株式会社エコ・ビレッジ代表取締役社長)
主な受賞歴・ 活動内容等	応急仮設住宅の建設 768 戸 高齢者サポートセンター 3 棟 地域型住宅ブランド化事業 H23 国土交通大臣表彰 H25 福島県功労者表彰 (林業) いずれも代表者

### 地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,000~1,500 万円
価格の基準面積	100 m <sup>2</sup>
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

\*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

### グループ全体の施工実績 (年間)

建設戸数* (木造戸建)	225 戸
うち地域材活用の住宅	225 戸
うち長期優良住宅	50 戸
グループとしての 施工実績	あり 225 戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	300 戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	300 万円以上の大～ 中規模リフォーム工事 70 件以上の実績。

\*参画する施工業者の建設戸数の合計

### 連絡窓口

担当者名	佐藤 利恵	メール	satou@eco-vnet.com
電話番号	0246-28-0111	F A X	0246-28-0116
ホームページ	http://www.eco-vnet.com		
自由記入欄			

## 地域型復興住宅

# 「ふるさと再生」新しい街づくりの家

### 地域型復興住宅のイメージと特徴

私達の住む福島県は気候・風土・文化の違いにより、浜・中・会津と三地域に分けられています。その中で、街並にとけ込み地域コミュニティーの一員として新しい街づくりとなる家。

浜・中・会津それぞれの地域の優良な工務店が皆様の家づくりと街づくりのお手伝いをします。

2020年には、現在の長期優良住宅やZEH（ネットゼロエネルギー・ハウス）が標準的な新築住宅となります。既に、それぞれの性能基準が定められつつありますが、これらの基準をクリアしているのが「ふるさと再生200年の家」です。

将来をみすえた先進の性能を持つ家です。



平屋建てプラン



2階建てプラン



2階建てパース

### 代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：45.13 m <sup>2</sup> 2階：37.26 m <sup>2</sup>
設計	(株)エコ・ビレッジ設計事務所	施工	株式会社 エコ・ビレッジ
施工費	1,650万円（設計費用は除く）	備考	吹抜け：4.97 m <sup>2</sup>

## 設計方法や地域材活用に関する特徴

2 間グリッドを標準とした平面計画とし  
間仕切りは可変壁を採用します。

住戸面積は 75 m<sup>2</sup>以上、二階建ての場合、1 階  
面積 40 m<sup>2</sup>（階段部分を除く）とします。

※長期優良住宅認定基準に基づく設計を行い  
劣化対策として、点検口の設置や床下点検の  
為の人通口、高さについて配慮しています。  
柱、土台、間柱はすべて地域材を利用する他、  
合板等については被災県産を使用します。  
(梁桁については、ヤング係数に基づく構造計  
算により樹種を選びます。)  
内装にも木のぬくもりを活かした地域材の使  
用を進めます。

### 主に活用している地域材について

地域材の名称	福島県産材
樹種	杉、アカマツ
産地	福島県
認証制度等	—
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では、福島県認証材「とってお木」の柱材を100%活用した家を供給します。

## 性能・仕様および施工方法等に関する特徴

耐震性能については、積雪地域においては住宅性能評価等級 2 その他は等級 3 を標準とします。省エネ性能については、特に高齢者の為にヒートブリッジの無い居住空間をつくるために、最高等級 4 とする他事業主判断基準（トップランナー基準）による温熱設計を行い、消費エネルギーをあきらかにし、性能表示します。一次エネルギー消費量の大きなエアコン等は（COP, APF）により選択、リビングに標準設置します。

それぞれの施工に関しては、現場施工写真データ等を住宅履歴情報として登録を行い確かな家づくりをします。

高齢者が安心安全に暮らせる家

しっかり断熱する事により、部屋間の温度差によるヒートショックの無い快適なそして安全・安心住宅。勿論バリアフリーです。



## 地域住宅生産者グループ 全木協福島県協会

### 地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

本会の登録資材供給事業者の内、木材関連だけでも40社の登録になっており全県を網羅しております。広域に渡り多くの事業者から資材の供給を受ける為に情報が個別散在します。大きな事業者と組む事で情報の一元化は計れますが、地域で生きる中小事業者と共働り、地域ネットワークを構築し、地域住宅産業活性化を計ります。



プレカット工場(外部)

全木協福島県協会 流通ネットワークの体制



プレカット工場(内部)

### 施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

本会は、全建総連（ユニオン）とJBN（ビルダー）が連携して組織されています。このことから、全建総連では各地の支部事務局で、JBNでは地域に幹事工務店を配して、消費者からの相談を受けます。また30年に渡る住宅履歴情報に登録し、保管、管理と維持計画書の作成により定期的に長期に渡る保守やメンテナンスを行って参ります。



住まいの管理手帳



住宅履歴書